

2022.09.05

団交情報

No. 826 <国労千交第9号>

申入日：2022.08.16

団交日：2022.08.30

国労千葉地方本部

『「変革2027」実現に向けた組織編成について』

基本要求の申し入れ 交渉実施

1. 技セの全体組織図を速やかに提出し、標準数を提示すること。また、各グループの主な業務分担を具体的に明らかにすること。
2. 電力と信通はなぜグループ編成が違うのか内容について説明すること。

【文書回答】

業務に必要な要員は確保していく考えであり、社員の運用については、任用の基準に則りとりあつかうこととなる。なお、業務の実態に則したグループ編成としている。

【組合】回答は、わかるが具体的な人数は、出せないのか。

【会社】各グループとしての人数は、出せないのが総体の人数を前回の時にお示しした。また、波動により業務のバランスを考えて適時に判断していきたい。

【組合】グループ編成の違いはなぜか。

【会社】電力では電灯や変電もあり、同じとはならない。

【組合】支社と現業を一緒にして現場社員は、業務量が増えるのではないかと不安を感じている。支社は忙しいという認識があり、その仕事が現場に来るが支社の働き方・超勤などは減っているのか。

【会社】支社の超過勤務は減少傾向である。

【組合】以前までは要員を示していた。なぜ要員が示せなくなったのか。

【会社】繁閑や助勢もあるが示せなくなった。総体としてお示ししている。

【組合】現場は具体的なことが知りたい。どうなるのか誰もが不安なのである。不安を解消してもらいたい。

【会社】標準数は無いが組織図は社員説明用でお知らせしている。

【組合】信号保全や工事グループは以前の様に2グループ制とするのか。

【会社】その様な案もあるが、検討中である。

3. 津田沼及び千葉において発注している工事は、どのような扱いになるのか明らかにすること。

【文書回答】

工事規模や内容に応じて、適正な工事発注をしていく考えである。

【組合】具体的にどのような扱いにするのか説明してほしい。

【会社】一応、9月末までに大方の工事については、竣工するような計画になっている。一部は、9月を跨ぐ契約工事もあるので見直しを考えています。いずれにしても適正な処理を行います。

【組合】竣工を急ぐあまり竣工ありきで竣工検査を実施しないでほしい

【会社】それは勿論しっかりと竣工検査を行っていきます。

4. 労働基準監督署への届出は、あるのかどうか明らかにされたい。また、あるのであればどのような理由で届け出るのかも説明すること。

【文書回答】

必要な届出は行っていく考えである。

【組合】必要な届出は、何処で行うのか

【会社】基本、支社で届出は行う。

【組合】津田沼技セが廃止となり、千葉労基署への提出となるのか。

【会社】千葉労基署となる。

【組合】宿直に入る人の届け出も行っていると思うが、信号社員全員か。

【会社】宿直を行っている箇所の人と技セでも宿直に入る方が対象となる。

【組合】属人名で届けるのか。

【会社】別途回答したい。(属人名ではなく人数の届け出)

【組合】フレックス勤務やフレキシブル休暇も関係してくる。詳細を教えてください。

【会社】検討中であり、決定次第お知らせする。

※ 安全管理者選任報告書・衛生管理者報告書
提出期限：14日以内

5. 各文章の整理は、いつまでどのように行うのか明らかにすること。また、現在まで整理されているものがあれば明示すること。

【文書回答】

規定類等の改正については、再編に向けて準備を実施しているところである。

【組合】どのようになっているのか。

【会社】発足前には伝える。触車・規定類については、現在ワーキンググループにて行っている。

【組合】技セ内の内規もあるがどうなっているのか。

【会社】両技セの突合せなどをして見直しているが大きな違いはない。

【組合】業務用自動車の台数に変更はあるのか。

【会社】台数の変更はありません。

6. 社員代表選挙はいつ、どのような形で行うのか明らかにすること。

【文書回答】

過半数代表者は、労働基準法施行規則第6条2に基づき選出を行っていく考えである。

【組合】 どのような考えか聞きたい。

【会社】 10月1日以降、速やかに行う考えである。

【組合】 社員代表選挙が行われるまでは、一緒になった場合は、各技セに1名ずついるが労働安全委員会開催時は、どちらが代表者になるのか。

【会社】 木更津総括センターを例にとると現職場にいた人が代表となっているのでそうなると思う。

【組合】 会社が決めるものか。

【会社】 社員代表が決めることも可能である。

7. 信号保全Gは、業務毎に何を行うのか明らかにすること。

【文書回答】

設備管理業務、修繕計画、予備品管理等の主に保全業務を行う考えである。

【組合】 具体的に説明してほしい。

【会社】 設備管理の業務、単価契約、保全計画など。

【組合】 社員説明の資料に明記されている事は、わかったが建築限界、アース管理は、技セ管理でいいのか

【会社】 建築限界の測定は、メセにお願いすると思うが管理自体は技セ管理です。また、現在、詳しく業務がわかるように星取表を作成しています。

8. 制御技術Gは、業務毎に何を行うのか明らかにすること。

【文書回答】

図表類・結線図、チェックリスト等の審査、図面管理の業務を行う考えである。

【組合】 変更になる業務が具体的にどの業務か。

【会社】 現在、支社で管理している連動図表、制御図表が技セに移行となる。

【組合】 承認の流れだが解明の時に言った流れで良いのか。

【会社】 制御技術G→副所長→審査担当→所長決裁となる。

9. 信号工事Gは、業務毎に何を行うのか明らかにすること。

【文書回答】

工事計画、予算・工程管理、工事制度管理等の業務を行っていく考えである。

【会社】 設計グループと考えて欲しい。支社で行っていた予算管理や追加仕様書の変更、歩掛なども管理していく。また施工標準などのワーキングなども行っていく。

【組合】 メンテナンスセンター業務に変更はあるのか。

【会社】 メンテナンスセンター業務に変更はない。

10. 電力メンテナンスセンター業務において変更になる業務は、簡易な工事設計が追加となっているがどのような工事設計を考えているのか明らかにすること。

【文書回答】

簡易な補修工事を対象とする考えである。

【組合】 具体的に教えて欲しい。

【会社】 100万円～150万円程度の修繕工事を考えている。駅等から上がってきた物などを予想している。

【組合】 MCには図面も無いが、本当にできるのか。ユーザー発注工事でできないのか。

【会社】 図面などは必要としない工事。単品交換等を予定している。

【組合】 予算関係はどうなるのか。

【会社】 予算は技セで管理することとなる。

11. 電力安全と信通安全は、なぜ業務内容が違いまた、違った業務については、何処で行うのか明らかにすること。

【文書回答】

安全対策・事故対策、事故報告などの、安全・保安に関わる業務を担当するが、それぞれ実態に則した業務内容を行う考えである。

【会社】 基本的には信号も電力も同じである。

【組合】 社員説明資料では随分違いがあるが。

【会社】 安全・保安に関わる業務である。従来と変わるものではない。

12. 企画Gと企画担当の違いは、何か具体的に明らかにすること。

【文書回答】

基本的な考え方に違いはないが、企画担当は波動業務にも対応できる配置とする考えである。

【会社】 信号と電力での呼び名の違いであり、基本同じ業務である。

13. 電力管理グループにある業務について信通では、何処が業務を行うのか明らかにすること。

14. 電力基準グループが行う業務について信通では、何処が業務を行うのか明らかにすること。

【文書回答】

業務内容に応じて、各セクションで行う考えである。

【会社】 電力で管理及び基準グループが新設される。信通には無い。信通では企画が行う業務となる。基準グループは信号の審査・制御に近い業務である。後日星取表で示していく考えである。

15. 図面台帳類の管理区分を区分表にて明らかにすること。

【文書回答】

図面管理機能運用マニュアルを基本として管理運用していく。

【組合】 今回の施策で大きく変わるものは何か。

【会社】 図面関係は今回の施策で変更する物はない。

【組合】 台帳類の整備は信号保全で行うことで良いか。

【会社】 その通りである。

【組合】 設備台帳や軌道回路台帳、現示系統図、またアース管理図や建築限界など多岐に渡っているが本当に大丈夫なのか。精度がかなり落ちている。

【会社】 しっかり行っていく。

【組合】 20年前の施策が徹底されていない。知らない若い子が増えている。あらためて周知する必要があると考えるが。

【会社】 管理ワーキングなども活用していく。

以 上